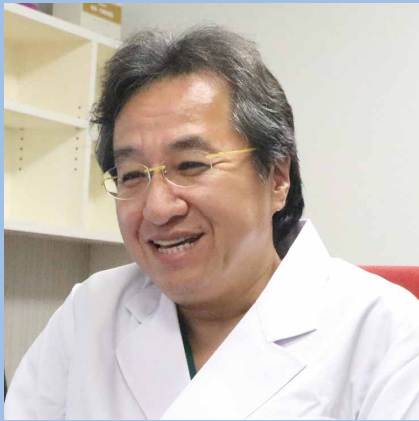


整形外科

腰部脊柱管狭窄症

腰部脊柱管狭窄症の代表的な症状は、間欠性跛行（かんけつせいはこう）です。間欠性跛行は、歩行時に腰の馬尾神経が圧迫されて血流が悪くなり下肢に症状が現れます。加齢、腰に負荷がかかる動作、背骨の病

症は、加齢とともに背骨などの変形や、椎間板に変性が起こり神経を圧迫したり、靱帯が肥厚し脊柱管自体が狭くなり起こります。よく似た症状に下肢の動脈の血流障害などでも下肢に痛み、痺れなどが起こります。診断にはレントゲンやMRIなどを利用します。治療には保存療法と手術があり、保存的に行う場合は、リハビリテーションや血流を改善する投薬を行い、改善が見られなければ手術による治療も行います。最近では内視鏡による低侵襲手術も行われています。そのような症状がある人は気軽に相談ください。



田中 英俊

■ 整形外科

新ゆり整形外科



☎044-955-1154
麻生区上麻生1-3-5
ドレイクビル2F
<http://shinyuri-seikeigeka.com/>